



東海道
江の島・藤沢宿
湘南海
ヘリコプター・ヨット
藤沢の2040年に向けての仕事



ふじさわ市民しごと機構

- ◆空き家をリユースし高齢者と障害者が終生過ごせる福祉関連機器研究・開発設計・製造のしごと場と国際観光の誘致を世界へ向けてアピール
- ◆行政・地域社会・地元自治会との協調

藤沢市
福祉
産業

テクネット湘南藤沢



1. 藤沢市の観光を見直し、世界中の観光客を招致し市民の安定した雇用で市の財政を健全化させる。

- ① 湘南海岸と緑の江の島、旧東海道藤沢宿、鵜沼地区を中心に博物館と美術館を点在させ藤沢の文化を発信する。
- ② 国際観光とソーシャルツーリズムによる交流人口の増加に焦点を当て食事やお土産などマイナーなものでなく持続的に伸びが期待できるシステムを提案する。

2. 効果

- ① 海外からの福祉関連視察を兼ねた観光客が増え、その関連の施設も増え雇用が増大し市の財政健全化に大きく寄与する。
- ② 国内外のホテルなどでの車椅子や福祉機器の着用の指導や車椅子を使っの観光案内に対応する障害者の出番が増大。

1. 藤沢市の強み検討し、福祉関連産業に焦点を当て持続可能なプランを提案する。

2. その効果は

- ① 福祉関連の研究開発施設、中小の生産施設関連企業、モニタリング施設、販売関連企業に国内外からの引き合いが多くなり、研究開発が発展を続け、生産依頼が増加、雇用が増大する。
- ② 健全者はもとより全国から、障害者も集まり相応の仕事を得ることができる。
- ③ 増加する高齢者のデイサービスに、若者に代わって高齢者が軽作業に従事出来るようになり地域ネットワークが構築され、互助の精神が普及する。
- ④ 高齢者、障害者も生涯現役として、経験を開発研究のニーズに答える役割、福祉機器のモニタリングに対応収入を得る。